

2021年1月14日

Vol.114



みんな

題字 谷川俊太郎さん



社会の変化とともに成長していく組織へ

2021年、健やかに新しい年をお迎えでしょうか。昨年はコロナ禍のもと、予定していたことの多くが叶わず、移動や人に会うことが制限されるなど、これまでにない経験をしました。

そうした中でも、感染予防対策と工夫をこらして活動をはじめ、できることを増やしながら活動を維持している団体の様子を感じられました。

まもなく東日本大震災から10年を迎える今年。復興事業によりインフラが整い、新しいまちが生まれています。変わりゆく被災地では、コロナ禍の影響とあいまって、地域状況や社会課題はより深刻に、不安は堪えません。しかし、そこに希望を感じるのは、人の存在ではないでしょうか。

干支の丑（牛）は、おっとりしているように見えても堅実で真面目に物事を進め成長を続けることができるポテンシャルの高い生き物と言われます。

当センターは、任意団体からの歩みを含めると24年目を迎えます。理事・職員ともに力をあわせて、

成長を続けていく組織でありたいと思います。会員のみなさんとも、より“つながり”を大事にしながらこの局面を乗り越えていきたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



祈りを込めてアマビエも新年のご挨拶

「みんな」バックナンバーがウェブサイトから閲覧できるようになりました。



当センターで発行している情報誌「みんな」バックナンバー全号がウェブサイトから閲覧できるようになりました。号外も含めると120回を超えています。記念すべき創刊号は1998年1月、当センターの法人化以前の任意団体のころより発行していました。

創立者の一人である故・加藤哲夫氏が書いた原稿も掲載されており、単なる会報に留まらず、NPOの動向、市民社会に大切な視点を知る貴重な資料ともいえます。この機会にぜひご覧ください。

ウェブサイトの「事業内容」に「ニュースレターみんな」という項目がありますので、そちらからご覧になれます。右のQRコードからもアクセス可能です。



詳細はこちら

価値規範の構築を進めています

代表理事 渡邊一馬

2019年からはじまった現中期計画に組織基盤強化を掲げました。総会で承認いただいた後、その秋から市民活動に強い組織開発の専門家の方に伴走していただきながら進めています。

私たちがこれからの新しい市民社会を実現していくためにも、当センターで働くことが職員の今後のキャリアにとってプラスになるような人事制度が必要ではないかと、代表就任時から考えていました。私自身は小さいながらも企業の経営者であり、評価や育成の制度を顧客に提案したり、構築を支援することを仕事にしています。だから余計に、現行の評価制度や採用基準について疑問を持っており、新しい市民社会をつくるには組織を強化することが必要だ！とっていました。

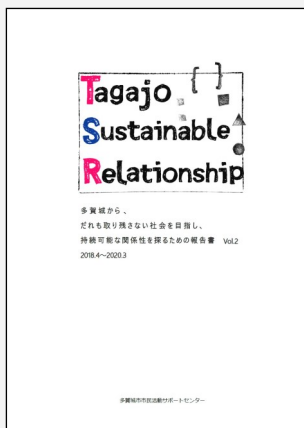
しかし、これは新しい経営者が陥る罠だったようです。職員のみなさんと対話を続ける中で、組織がしっかりしていたからこそ、今日まで当センターが存続できていることを発見できました。とはいえ、人事制度には改善すべき点がたくさんあります。代表に就任して以来、職員のみなさんからはさまざまな視点から、不満や提案をいただいています。

そこで、人事制度を改革する前に、まずは当センターの価値規範を再定義することに取り組んでいます。今は、私たちが大切にしている価値とは何かを、仙台市、多賀城市両センターと組織全体の3パターンつくり、それを編むことを進めています。最終的な完成は今年の春以降になりそうですが、自分たちの言葉で語られる価値規範がくれそうです。会員のみなさんからもご意見を頂戴出来れば幸いです。



2019年12月25日のスタッフワークの様子

多賀城から、だれも取り残さない社会を目指し、 持続可能な関係性を探るための報告書 Vol.2



たがさぼHPでダウンロードできます。

多賀城市市民活動サポートセンター(たがさぼ)では、地域課題の解決のためにさまざまな組織・団体の連携を進める「Tagajo Sustainable Relationship(TSR)」を掲げました。これは、多賀城から持続可能な関係性を探るという意味が込められています。報告書では2018・2019年度の取り組みを紹介。障がい者雇用をテーマにNPO・企業・行政等が多様性について対話する場、車いすや外国人技能実習生とのまちあるきを実施した中での気づきがまとめられています。

地域にはたくさんの団体、企業があります。また、いろいろな人たちが住んでいます。それぞれの強みや視点を合わせることで地域はよりよくなっていきます。「自分たちの持つ力をどうやって地域に活かそう」「どんな風に他者とつながっていこう」と考えるみなさんのヒントになる一冊です。

今年度は1月22日に「ユニバーサルなまち」「貧困・孤立・フードロス」「発達障害」「外国人労働者」「化学物質過敏症」「LGBT・ジェンダーレス」という6つのテーマを考えるオンラインプログラムも開催します。

発行 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

住所：〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-8-10 大和ビル4階

TEL：022-264-1281 FAX：022-264-1209

E-mail：minmin@minmin.org HP：https://minmin.org/



HPはこちら